

平成 27 年 7 月

日本カリキュラム学会主催 「秋のセミナー」のお知らせ

「アクティブ・ラーニングを考える」

日本カリキュラム学会代表理事：長尾彰夫

同学会研究・広報委員会委員長：天笠 茂

平成 26 年 11 月の次期学習指導要領改訂への諮問を受け、全国の各教育委員会ならびに各学校現場においては、特に「アクティブ・ラーニング」が注目され、各地において模索的な実践が展開され始めています。日本カリキュラム学会でも今年 7 月の全国大会でこの課題を取り上げて論議を行いました。教育現場のニーズに対応すべく、以下のセミナーを開催します。

小・中・高 3 校の先進校による事例発表を受け、アクティブ・ラーニングの理論的推進者及び教育委員会や学校研究の指導者である研究者を交え、アクティブ・ラーニング登場の背景、意義、具体的な方法について協議を行います。

日本カリキュラム学会の社会貢献的行事として、学会員にかかわらず、全ての学校関係者及び教職を目指す学生・院生、報道機関関係者、研究者に公開いたします。お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。

開催日時：**平成 27 年 10 月 25 日（日）** 13 時 30 分～16 時 30 分（受付 13 時～）

開催場所：**お茶の水女子大学理学部 3 号館・701 教室**

【最寄り駅は東京メトロ丸の内線の茗荷谷駅です。正門からお入り下さい。】

参加費用：無料（事前申込みの必要はありません）

事例発表：東京都新宿区立大久保小学校（三田大樹主幹教諭）

埼玉県戸田市立笹目中学校（矢作浩章研究主任）

岩手県立盛岡第三高等学校（下町壽男岩手県立大野高校学校長）

指定討論：松下 佳代（京都大学教授）

村川 雅弘（鳴門教育大学教授）

司会進行：西岡加名恵（京都大学准教授）

野口 徹（山形大学准教授）